八尾市バドミントン協会　シャトルつき検定基準	
級・段	基　準　内　容
10級	シャトルつきが連続10回できる。
9級	シャトルつきが連続50回できる。
8級	シャトルつきをしながら3m先に行って落とさず戻ってこれる。
7級	シャトルつきをフォワーとバックで交互に連続20回できる。
6級	シャトルつきを連続5回した後、ラケットでシャトルをキャッチできる。
5級	シャトルキャッチとシャトルつきを交互に10回できる。
4級	シャトルを順回転・逆回転で連続10回できる。
3級	シャトルつきで、シャトルにスピンをかけて連続10回できる。
2級	打った後、シャトルの周りをラケットで一周して連続10回できる。
1級	打った後、最高点のシャトルに触れて連続10回できる。
初段	打った後、シャトルの周りをラケットで２周して連続10回できる。